

## 日常生活—衣服

### レ・ティ (ベトナム)

#### 1. ベトナム女性の衣服の過去と現在

ベトナムでは伝統的に、外出時はアオザイ（タイトなチュニック）を着用します。この衣装は 19 世紀の建国時以来、女性の国民服となっています。

都市部に住む女性は、体に合うような上部がタイトなアオザイを着てきました。アオザイは首から腰までボタンで留めるようになっており、腰からは両脇にスリットが入って、前と後に分かれる形になっています。長さはさまざまで、その時の流行に左右されます（現在はとても長くなっています）。以前のアオザイはゆったりとしていましたが、女性の胸や華奢な腰を強調するような形に変わっていき、今のような形になりました（写真 1、2）。夏には手の込んだ生地で作られ、冬にはウールや色のついたベルベット地で作られます。白や黒といった、シンプルな色合いの絹のパンタロンの上にはおることがよくあります。

外出時にブラウスを着てはだめだと言われたことがあります。11～12 歳の頃、登校時や友人と遊びに行く時も、白いパンタロンの上にアオザイを着ていたことを思い出します。当時、黒いパンタロンをはくのは、農村部の女性に限られていました。

農村部で女性たちが着るアオザイは、両脇にスリットがあって前後に分かれた形をしており、前垂れの部分は腰周りでゆったり締めるようになっています。2 つに分かれた前垂れの部分にはボタンがなく、下に yem と呼ばれるホルタートップの白い上衣を着て、白やその他の色の絹のベルトで締めています。この衣服は、黒のゆったりとしたスカートの上に着用します（写真 3）。

最近では、日常でアオザイを着用することはほとんどなくなり、正式な行事の場（旧正月、結婚式、葬式、会議、フォーマルなパーティーなど）で着用されるものになってきました。アオザイは今でも、色や柄のついた布で、ゆったりとした形に仕立てられます。襟はあるものもないものもありますが、前後に分かれ、女性の体型を強調するような形になっています（写真 4）。しかしながら、若い女性は西洋風の服装を好み、会議やパーティーへの出席にも、いろいろな形のズボンスーツやブラウスを着用し、職場ではズボンの上にブラウスをはおるのが一般的です（写真 5、6）。

家庭での女性の日常着としては、袖つきや袖なしのブラウスに軽い長ズボンを組み合わせて着用します。昔はブラウスも前で 2 つに分かれ、ボタンで留めるようになっており、左右どちらにも小さなポケットがついていました。ブラウスは白い生地で作られ、長ズボンは白や黒のシンプルな絹地で作られていました。今ではいずれもカラフルな生地が使われています。

ヘアスタイルはというと、以前は髪を長く伸ばし、頭の後ろでまげに結っていました。少女たちは髪を下ろしたり、頭の後ろで縛ったり、まげを結ってハンカチやベルベットのスカーフで覆ったり、ポニーテールにしたりもしていました。また、頭の周りで髪を巻き

上げ、それを覆うように四角いスカーフをかぶったりすることもありました（写真 7, 8）。しかし最近では、このようなヘアスタイルは農村部に住む年配の女性にしか見られません。都市部に住む年配の女性は、髪の毛を短く切ったりカールさせたりし、少女たちもレイヤーをつけたショートスタイルにすることが多くなっています。

今でも、特に農村部の女性は椰子の葉の円錐形の帽子をかぶっていますが、キャップ型の布帽子や椰子の葉の帽子の方が人気のようです（写真 9）。また履物は、女性は木下駄を履いていましたが、今では皮製のサンダルや布製の靴を履いています。装飾品も、以前は金製、銀製の指輪、ネックレス、ブレスレットを身につけていましたが、今ではスタイルも素材も価格も選択肢がたくさんあります。

## 2. 衣服の縫製

かつては、女性は自分の衣服は自分で縫製し、アオザイを作る時だけ専門の仕立屋に行っていました。今でも、アオザイやパンツスーツを作るために仕立屋に行く女性もいますが、どちらかという、洋品店に置いてある既製服を求めることが多いようです。買い物には時間がかかるものですが、今では、ショッピングは年齢を問わず女性の楽しみの 1 つになっています。ウインドウショッピングが好きな女性も多く、趣味にしている女性もいます。ファッションはどんどん変化し、多くの女性、特に若い女性にとって、ショッピングは日常的なものになってきています。



写真 1



写真 2



写真 3

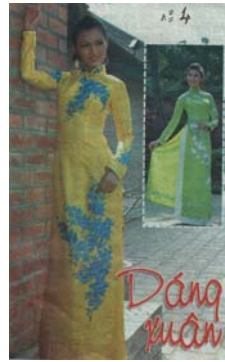


写真 4



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9